

# ぶちらいふ

らいふ通信

lifsea

株式会社リフシア  
ホームページ  
http://lifsea.co.jp  
らいふ日記(スタッフブログ)  
green.ap.teacup.com/lifekaigo

2013春 Vol.31



講演に立つ杉山先生

「夕方になるといつも泣きだしていた。何故かなしいのかと聞くと『こんなに馬鹿になってしまったって...』』という言葉が返ってきた。

ぼけても心は生きています

3月9日、茅ヶ崎市民文化会館に於いてリフシア介護セミナーを開催しました。講師の杉山先生は、認知症の人が住み慣れた地域で暮らすためには、家族など介護する人たちへの医療を含めた援助が必要と、「呆け老人をかかえる家族の会神奈川支部」(現「公共社団法人認知症の人と家族の会」)設立当初から今日まで32年の長きにわたり、当事者や家族とともに活動を続けて来られました。その活動の中で考案、発展させてこられたのが、「認知症をよく理解するための9大原則1原則」です。介護するご家族や民生委員さんをはじめ地域のみなさんが、たくさんセミナーに参加し、80名定員の大会議室は満席となりました。

「病」を学ぶだけでは解決しない

認知症の原因や治療を知るのにも必要ですが、「認知症の人が形成する世界を理解し、大切にすること。その世界と現実とのギャップを感じさせないようにする」認知症介護の原則の説明は、不安と

「病」を学ぶだけでは解決しない  
「夕方になるといつも泣きだしていた。何故かなしいのかと聞くと『こんなに馬鹿になってしまったって...』』という言葉が返ってきた。



参加者80名で満席となった茅ヶ崎市民文化会館の大会議室



セミナー終了後、家族や介護現場のスタッフから熱心な質問があり、杉山先生はひとつひとつ丁寧に答えてくださいました

参加者から、「家族がもしもの時の対応が少しわかり、不安がなくなった」「認知症の人の心のうちをよく理解しないまま、不可解な行動や言動に対して無意識に恐れ、抑えつけてきたのかもしれない」「日頃の疑問が解消した」などの感想が沢山寄せられました。

みに関係作りや小規模多機能型居宅介護の役割、地域ケアの重要性についてお話しされ、大変内容の深いセミナーとなりました。

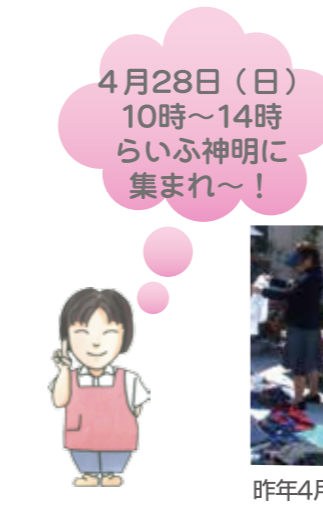
混乱の多い介護の解決に向けた実践的なお話でした。最後に、今後ますます増加すると思われる一人暮らしの認知症の人についても、安心して地域で暮らすために、民生委員さんやご近所など顔なじ



## 認知症の「9大原則1原則」 認知症の理解に向けて

第5回リフシア介護セミナー報告

講師 特定医療法人財団石心会 川崎幸クリニック 杉山 孝博 院長



昨年4月のバザー風景

### 四季のうた

このシリーズの最後は、いきなり、イントロ・クイズからです。「四季の歌」の作詞家の荒木とよひさは、四季を愛する人は、それぞれ、どんな心の人だといっているのでしょうか。

- ♪春を愛する人は・・・
- ♪夏を愛する人は・・・
- ♪秋を愛する人は・・・
- ♪冬を愛する人は・・・

更に、二行目の歌詞で、具体的にどんな人かを説明していますので、それは？四季の歌シリーズは、これで終わりにしますが、日本には、はっきりした季節があって、本当によかったと思います。どの季節にも、それぞれに良さがあります。因みに私は秋を愛する人です。あなたは？(井)

(答え) ④心広き人・友だち ③心深き人・恋人  
②心強き人・父親 ①心清き人・母親  
夏号の答えの追加 ①石川さゆり「津軽海峡・冬景色」

## INFORMATION

らいふ神明東日本大震災復興支援バザー



バザー会場となったらいふ神明の駐車場



光

東日本大震災から2年が経ちましたが、甚大な被害を受けた東北地方の復興の道のは大変厳しいと聞きます。長期化する避難生活によって起こる被災者の心や生活、介護などの様々な問題から、「私たちも目を背けてはいけません！」と6回目の震災復興バザーがらいふ神明で行われます。当日は東北物産展も予定しているので、少しでも力になりたいという方、ご参加お待ちしております。

### 編集後記

3月9日の介護セミナーでは、「前回も来ましたが、杉山先生の講演は2回目です」という方や、認知症の方を介護するご家族が沢山見えました。このテーマへの関心が本当に強いのだと思います。

今回早くに定員になったため参加をお断りした方も多く、大きな会場が準備できず申し訳ありませんでした。講演内容をもっと詳しく学びたいという方は、杉山先生が書いたパンフレット「改訂 認知症の理解と介護・認知症の人の世界を理解し よい介護をするために」(一部300円)が若干ありますので、編集室までお気軽にお問い合わせください。

次回、ぶちらいふ夏号は8月15日発行の予定です。読者の皆さまの投稿や挿絵などお待ちしております。

lifsea 株式会社リフシア

らいふ萩園 デイサービス(認知症対応型・一般型) TEL.0467-89-5277  
 らいふ萩園 居宅介護支援センター TEL.0467-89-5277  
 らいふ松林 小規模多機能型居宅介護 TEL.0467-54-8591  
 らいふ神明 小規模多機能型居宅介護・グループホーム TEL.0466-21-7893  
 らいふ柳島 小規模多機能型居宅介護 TEL.0467-84-1220  
 らいふ香川 小規模多機能型居宅介護・グループホーム TEL.0467-55-2110  
 らいふ松が丘 デイサービス TEL.0467-53-9521  
 らいふ松が丘 小規模多機能型居宅介護 TEL.0467-53-9610



らいふ通信「ぶちらいふ」春号Vol.31  
2013年4月15日(季刊発行)  
編集/ぶちらいふ編集室  
〒253-0071 神奈川県茅ヶ崎市萩園 2822-1  
TEL0467-55-5102 FAX0467-55-5103  
発行/株式会社リフシア

# 高齢者の在宅生活を支えるケアプランについて

(司会) 一面で報告した介護セミナーで、「地域全体が認知症高齢者、とりわけ一人暮らしの認知症高齢者の問題を理解し、地域の中で共通の取り組みができるようなマネジメント機能も重要、小規模多機能はその重要な役割の一つとして上げられる」というお話が杉山先生からありました。皆さんはこ



た。皆さんはこのことをケアマネとしてどのように思っていますか。  
(小田嶋) 最近、離れた家族の所に移り住む高齢者が増えています。本当は学区ごとに小規模多機能があり、介護が必要になっても今まで築いてきた人間関係や地域のネットワーク

ークを使って慣れ親しんだ土地で生活できるのが理想だと思うので、家族の代表、自治会、民生委員さん、地域包括支援センターや市の方も参加する運営推進会議を定期的に開催する小規模多機能は、高齢者を地域で支えるネットワーク作りが大きく貢献できると考えています。  
(天野) はい。うちも自治会に入っているのですが、回覧板で福祉まつりや防災訓練など地域の催しを見つけては参加しています。近くにボランティアアセンターができたので、気軽に出かけてお茶をいただいたり、将棋を指してきたりと、ずいぶん顔馴染みになりました。事業所の中で完結する

きなくなったら、身近な家族や近親者のお世話がないと生活を続けられなくなるのです。全てを介護保険で賄えないので、ボランティアさんの見守りもプランに取り入れますが、臨機応変に行かないので、家族に代わってケアマネの私が病院の付き添いや安否確認をするケースも有ります。  
(天野) 小規模多機能は、宿泊する日であれば主治医に往診してもらえるので、働いている家族にとっては安心ですね。緊急の時は私たちが病院に付き添いますし。最近、医療依存度の高い方の退院相談も多いので、退院直後の介護にご家族の不安があるという事ですね。



右から居宅介護支援事業所のケアマネジャーの山口さん(らいつ萩園)と、小規模多機能型居宅介護のケアマネジャーの小田嶋さん(らいつ松林)、天野さん(らいつ柳島)

3月地域のひな祭り(菱沼八王子神社)に出かけ、焚火のそばで美味しいうどんをご馳走になりました。



子供たちのお隣りもあり「らいつ松林」の皆さんは大満足!



お花見に出かけた「らいつ柳島」の皆さんに、ブルーシートへ招いてくれた宴会中のご近所さん。子供連れの若いお母さんたちからも気軽に声をかけていただく今日この頃です。



3月下旬、桜満開の寒川中央公園に出かけた「らいつ香川」の皆さん。自分たちで用意したお弁当は美味しい!といつもより箸がすすみます。



縫い物に没頭することもあります。

効に活用しながら休養をとっていただきたいと思えます。小規模多機能を利用する皆さんから『お互いさん』と言ってもらえるよう、一緒に悩んだり笑ったり、決して逃げずに向き合う姿勢で頑張りたいですね。  
(小田嶋) それから、認知症の方の介護では、その人の生きてきた歴史や経験など家族でなければわからない情報が貴重です。利用する時には、些細なことでも教えてもらえると、ケアプランにつながり、助かりますね。

## 地域で活動している家族会のご紹介

### 茅ヶ崎市 にこここクラブ

認知症の方とその家族・看取った家族ボランティアと一緒に活動

- ・第1木曜日(福祉会館1階)ミニデイサービス
- ・第3木曜日(農協ビル3階の茅ヶ崎市老人福祉センター)ミニデイサービスと介護者同士が交流する家族会
- ・電話相談室(これって認知症?ホットライン) 受付: 0467-88-0366
- 第1・2・3・木曜日、午前10時~午後3時

認知症についての不安や介護している家族の相談を行っています

お問い合わせ先 0467-52-1296  
代表者 寺元 栄子



### 寒川町 寒川介護者のつどい

認知症の方を抱える介護者の集まり

第4火曜日(寒川東中学近くの岡田地域集会所) 午後1時半~3時半介護者同士の交流活動を行っています

お問い合わせ先 0467-75-6015  
代表者 佐藤登美子  
茅ヶ崎市保健福祉事務所 保険予防課  
0467-85-1171

### その他の情報 「茅ヶ崎市・寒川町徘徊老人のためのSOSネットワーク」

茅ヶ崎市役所・寒川町役場・茅ヶ崎警察署・茅ヶ崎市社会福祉協議会・茅ヶ崎保健福祉事務所がネットワークになり徘徊する認知症高齢者の早期発見、保護するシステム

■お問合せ先  
茅ヶ崎市高齢福祉介護課 0467-82-1111  
寒川町高齢介護課 0467-74-1111

(小田嶋) ただ、小規模多機能のサービスは日中の通いが原則15名までなので、訪問・宿泊・通いのバランスや、本人や家族の介護状況に合わせたプラン作りでは大変苦労しています。  
(山口) 私たちが在宅のケアマネには、小規模多機能は定額報酬で、いくらでも使えるというイメージがありました。  
(天野) 介護者は本当に疲れていて、サービスを沢山使いたくなる気持ちは良くわかります。特に認知症の方の介護は気の休まる時間がないので、地域のさまざまな社会資源を有

りたい方はお近くの事業所にお気軽にお尋ねください。今日は有難うございました。

